

大石便り

9月号

毎月1回発行
(第15号)

「保原で太鼓まつり」

8月24日、保原総合公園で『第29回 霊山太鼓まつり』が開催され、多くの観客で賑わいました。

午前は、ちびっ子たちの太鼓を中心にプログラムが進み、県のゆるキヤラ「キビタン」も駆けつけました。午後は、浪江町や飯館村、川俣町の伝統芸能、米沢市の上杉太鼓などが披露され、紅晴美さんやフラダンスのショーも観客を魅了しました。

霊山太鼓では、大石地区の各方部の保存会も、子どもから大人まで楽しく太鼓を叩きました。総勢400名の打ち手が同時打ちを行ったファイナーレは大いに盛り上がり、ラストには花火も打ち上げられ、夏の夜を華やかに彩りました。(支)



芝生の上で気持ちよく



子どもたちも頑張りました



スタッフとしてお手伝い



広々とした公園で雄大な同時打ち

「納涼祭」

8月14日、北方部広場で「北方部納涼祭」が開催されました。公民館活動推進委員会(大橋喜一代表・藤本)が企画、運営を行ない、「花は咲く」を歌ったり、カラオケやビンゴゲーム、霊山太鼓に盆踊り等で盛り上がりました。(庄)



女性会の華やかな踊りにうっとりする地域住民

8月15日は、「南方部納涼祭」が霊山神社下広場で行われました。今まで雨に悩まされてきましたが、今年は天候に恵まれ、200人を超える来場者がありました。カラオケや日本舞踊、コント、各集落の婦人会の趣向を凝らしたダンスや体操など、多彩な出し物で盛り上がりました。最後は霊山太鼓の披露と景品盛り沢山の盆踊りで夏の一夜を楽しく過ごしました。(初)

「霊山公民館長杯ソフト」

8月26日の下大石対南方部は、下大石の若手の活躍で下大石が勝利、28日の北方部対泉原は同点となり抽選の結果、泉原が勝利しました。29日の決勝戦、下大石対泉原では、打線が活躍した泉原が勝ち、優勝。準優勝は下大石、3位が北方部と南方部でした。(初)



決勝まで進み、惜しくも準優勝に終わった下大石チーム



腹踊りで納涼祭を盛り上げる右代婦人会の方々

「ほれ話：「冷しそうめんを食べる会」では、三種類のたれ（しょうが、くるみ、じゅうねん(エゴ)みそ)を用意しましたが、じゅうねんみそが昔懐かしい味だったようで、皆さんに喜んでいただけました。(ケ)

「お披露目の夕べ」

8月10日(里山がっこう)
絆フェスティバル出演者一同



11月の公演に向け、一所懸命に練習している踊りや太鼓、合唱をお披露目しました。太鼓は時ちゃん(す)

「盂蘭盆会」㊤

8月13〜16日(大善寺)
大善寺門信徒



ご先祖様の年回忌に当たっている門信徒が『法名書』持って、日中勤行の時にお参りしました(初)

「盂蘭盆供養」㊤

8月14日(靈山寺本堂)
靈山寺檀信徒



山王大権現様において、檀家様の祖先と家内安全、家業繁栄を祈念する護摩祈祷が厳修されました(精)

「冷しそうめんを食べる会」㊤

8月23日(ふれあいセンター)
下大石ふれあいサロン



暑い夏を涼しく乗り切り、元気を呼び戻そうと、子どもを含む30名が参加し、楽しく催しました(ケ)

「お便り」

「チャレンジ教室」

高橋 由美子(三ノ輪)



8月23日、大石小の児童のために活動している「チャレンジ教室」に参加させていただき、ラビスパ裏磐梯に行って来ました。一年生が多いので同行しましたが、あまり混み合ってはいませんでした。低学年は浮き輪を使って大きいプールに入ったり、高学年は自分たちでウオータースライダーをしたりと、学校とは一味違うプールで、楽しい夏休みの思い出になったようです。秋の喜多方探検も楽しみです。



流れるプールで、低学年から高学年まで仲良く遊ぶ大石小の児童たち

京 曆 (長月)

ごよみ

【櫛まつり】

使い古した櫛やかんざしに感謝を込めて、お清めし供養する祭礼。女性たちが古墳時代から現代の舞妓までの髪型を全て地髪で結い上げ、時代風俗行列として祇園界隈を練り歩く。



祇園の町並みに映える

く 京・放浪記 く

「櫛まつり」が行なわれる安井金比羅宮は「縁切り神社」として有名です。と書く怖ろしい感じがしますが、「あらゆる悪い縁を切り、良縁を結ぶ」そのなので、男女の縁はもちろん、病氣、酒、煙草、賭事などの悪縁を切りたい方はどうぞ。

大石の人

橋内 和子さん（右代）



南方部納涼祭の司会を務めた和子さん

娘夫婦や孫たちと一緒に、にぎやかな日々を送っています。納涼祭では、司会で楽しいひとときを過ごさせていだきました。秋の敬老会の司会も頑張りたいと思います。



奈央（4才）と優彩（2才）の孫たちも納涼祭を楽しみました

活動団体

大石ふれあい会

【代表】大橋 庄信（杉菜畑）

【会員数】約900名

【設立年】平成18年

【組織】大石敬老会実行委員（行政推進員、各種団体等）

【おもな活動】

大石敬老会開催（9月）、小学校行事に協賛参加

【一言】

大石地区はさまざまな個人・団体が優れた芸能を有しています。少子化が進む中、小学校を心の拠り所とし、芸能発表の場を設けたり、高齢者を敬う事業を行なっています。



敬老会の準備や役割分担について話し合う実行委員の方々

集落

楮畑（こうずはた）

【世帯数】9世帯

【字名】楮畑、竹ノ内、稲場

【地理・歴史】

霊山の西麓の県道沿いで、湧水の里に向かう道の入り口に位置する。生活用水を湧水の里の水で賄っている。

【建造物、史跡】

楮畑集会所、愛宕神社

【行事】愛宕神社祭礼・合同（5月）、山神講（2月）



昭和59年の愛宕神社改築時の移転の様子（上）と湧水の里入り口付近（下）



農事暦（秋）

【9月】

○水田：水の管理、稲刈り

○畑：秋冬野菜（ホウレンソウ、白菜等）の播種・移植

○果樹：お礼肥

【10月】

○水田：稲刈り、杭架け（天日干し）、稲の脱穀

○畑：サツマイモ等の収穫

○果樹：りんご（王林）の収穫、収穫後の元肥

【11月】

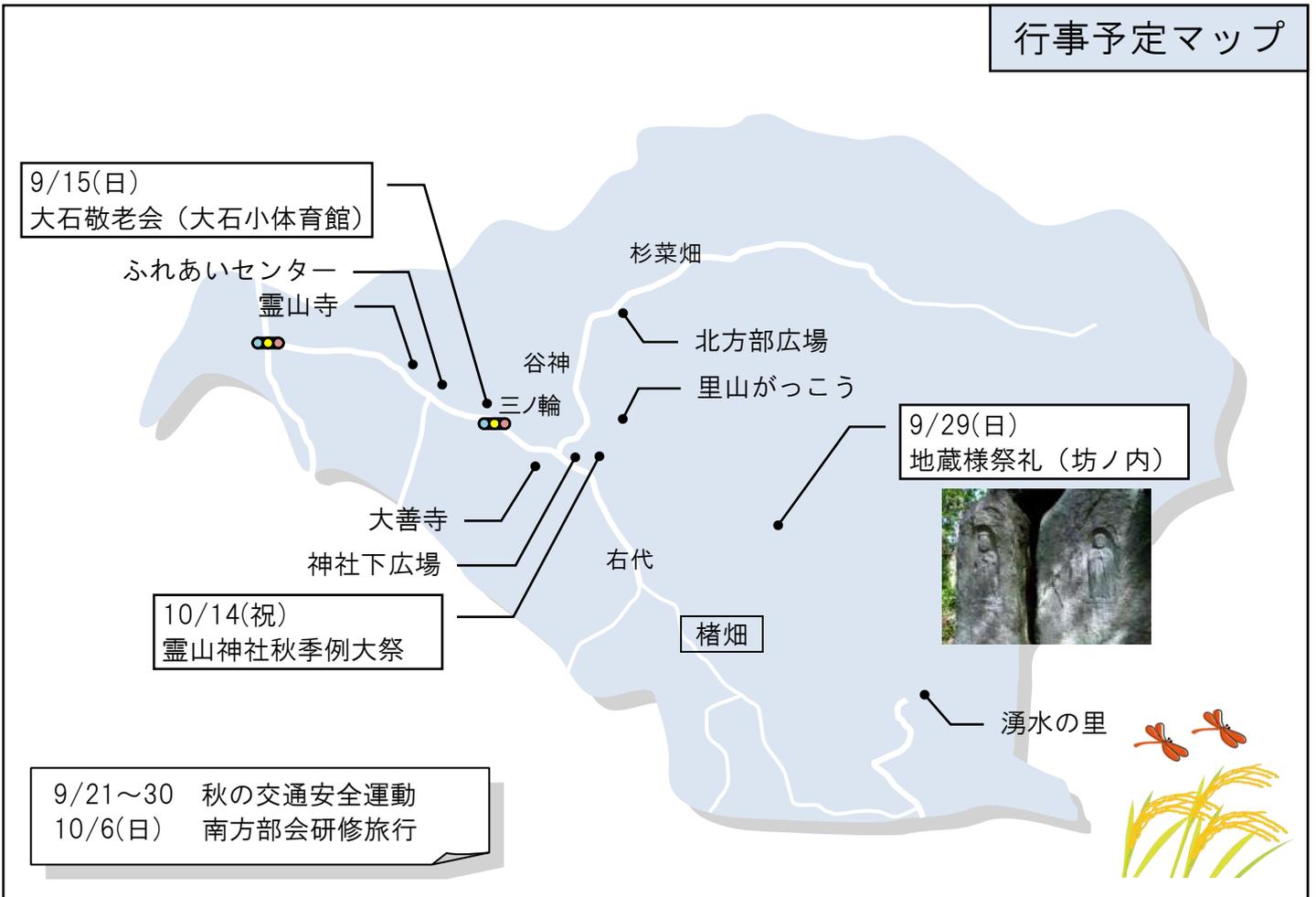
○水田：天日干し稲の脱穀

○畑：大豆、サトイモ等の収穫

○果樹：りんご（ふじ）の収穫、あんぼ柿皮むき



黄金色に輝く稲穂と霊山



お知らせ

◎大石ふれあい会より

『第7回大石敬老会』を開催いたします。歌謡、民謡、舞踊、各種団体の芸能を中心に公演されます。皆様お誘いの上、是非、足をお運びください。

【日時】9月15日(日)

【時間】午前10時30分～午後3時

【場所】大石小学校体育館

※入場者昼食付き、送迎あり

募集

◎赤い羽根共同募金

平成25年度赤い羽根共同募金・

『住民支えあい活動助成事業』

今年度の助成申込みを受付中です。行政区、方部会、各種団体等、さまざまなグループで利用できます。手軽に申請できますので、秋の芋煮会や氏神祭礼などの助成にいかがですか。

※詳しくは伊達市社協までお問合せください(支援員も応相談)

編集後記

2020年の東京オリンピックの開催が決まりました。今回のプレンゼンでは、「なでしこの力」「オールジャパン」、そして「おもてなし」が招致成功のキーポイントだったように思います。これは、練習とりハーサルを何回となく重ね、自信を持って本番に取り組んだ賜物と思われます。平成の大合併や東日本大震災後も、いまひとつ一丸となりきれないでいる日本。過疎化が進む地方も例外ではありません。「女性の力」「協力的体制」、そして「思いやり」が、今まで以上に欠かせなくなっています。

次号(10月号)は、

10/10(木)発行予定

記事・情報はお近くの特派員まで

大橋庄信、大橋博之、村松初、小林節子、大石精、高橋トモ子、

【今月の記事投稿・写真提供】

高野すみ子さん、菅野ケイ子さん、高橋由美子さん、橋内和子さん、齋藤幸春さん(掲載順)

大石便り

10月号
毎月1回発行
(第16号)

「大石敬老会開催」

9月15日、大石小学校校体育館で、「第7回大石敬老会」が開催されました。今年は、大石の各種団体のほか、他地区からの友情出演もあり、15を超える団体が競演しました。

毎年、出し物には創意と工夫が見られますが、今年も芸達者な大石の住民たちが40演目を披露しました。中でもスポーツ少年団の児童たちの合唱、デュエット歌謡や「二人羽織」などのコンビ芸は、高齢者たちを楽しませました。訪れた中には90歳を超える方も来場され、無料で振舞われた昼ご飯や紅白饅頭をいただきながら、楽しいひと時を過ごしていました。来年も元気にお越しください。



楽生会女性部の踊り



スポ小の子どもたちも熱唱



息の合った? 「二人羽織」



「こまどり姉妹」ならぬ「チャボ鳥姉妹」で会場を沸かせた芸達者なコンビ

「聖徳太子会」㊦

9月9・10日、日本に仏教を広めた聖徳太子を敬い、大善寺義信会が祭りを執り行いました。

大善寺の参道に立てた旗には『慈恩如雨露（じおんうるのごとし）』と書かれており、「仏様の慈しみのご恩は、雨・露のごとく、すべての人に分け隔てなく降り注いでいる」という意味です。私たちもこの教えを忘れずに、日々過ごしていきたいと思えます。（庄）

『正信偈（しょうしんげ）』をあげる義信会

旗上げの準備



「秋の全国交通安全運動」

9月21日からの10日間、『秋の全国交通安全運動』が行われました。9月24日、霊山分会では鳥居広道の交差点付近で、朝の交通安全街頭指導を行い、交通安全のチラシと女性部の木幡英子さん（出広）制作によるマスコットを配り、安全運転を呼びかけました。（初）



ドライバーに声をかける女性部（上）とお手製マスコット（左）



「プチニュース」

▽「霊山体育協会長杯ソフトボール大会」 上小国イーグルス 12対9 ニューヤンキース

「ほれ話」：「天子は南面す」という中国の慣習に倣い、京都御所(紫宸殿)は南向きに建てられたと云われており、京都市内では、北へ「上ル」、南へ「下ル」といい、東が「左京」、西が「右京」となっています。(支)

「南方部会で草刈り奉仕」㊦

9月8日(南方部の県道)

南方部会



県道の霊橋～霊山閣間と広畑～名目沢間の道路端の草刈り作業を、会員26名の参加で行いました(初)

「地藏様祭り」㊦

9月29日(坊ノ内地内)

坊ノ内集落



住民が少なくなった中、近隣に住む元住民が参加し、無事開催できました。直会も盛り上がりました(初)

「彼岸花が赤く映える」

9月下旬頃



共栄・箒屋敷の水源施設付近



日枝神社下の石碑付近



院主・近江屋敷の県道沿い

「お便り」

「人生の先輩に感謝」

大石ふれあい会長 大橋庄信

大石敬老会が、今年も無事開催できました。敬老の日に、若い世代が高齢者を敬うために行なっている事業ですが、私たちが今いるのも、こうした先輩方に育まれたおかげです。

高齢とは言っても、現在も家事や畑仕事をせっせとこなしている方も多く、家族の絆、地域のつながりの中心的存在になっています。人生の先輩方が築き上げてくれた自然や文化を引き継ぎ、未来の宝である子どもたちに伝えていきたいと思えます。



芸達者な大石住民の熱の入った演技を楽しむ高齢者の皆さん

京曆ごよみ(神意月)

【京都御所】

歴代天皇が住まわれた宮殿で、現在のものは江戸時代末期に再建したもので、一部は平安朝の古制を模している。十月下旬には『秋の一般公開』が開催される。



天皇の即位などが行なわれた紫宸殿

〈京・放浪記〉

京都御所に入れる機会は限られています。御所のある京都御苑は市民憩いの公園となっていて、春は梅や桜、秋は紅葉など、訪れる者を楽しませてくれます。ちなみに、『八重の桜』でお馴染みの同志社大学は、京都御苑の北側に位置しています。

子ども

橘内 結万くん(坊ノ内)

(平成21年4月4日生まれ)



車が大好きで、毎日元気に車遊びをしています



わんこ

チャコ(メス・13歳)

種類：柴犬

飼い主 菅野 勝司さん(阿久津)



普段はおとなしいですが、軽トラックを見ると、なぜか吼えます

活動団体

霊山道先案内人会

【会長】遠藤 善一(石田)

【会員数】29名

(大石在住は、菅野ケイコ、大石精、大橋克之、大橋良一、齋藤憲一、大橋藤男)

【設立年】平成9年

【おもな活動】

霊山の案内、放射能のモニタリング、会員の研修、等

【一言】

歴史が深く、季節ごとに表情を変える霊山は、登るたびに新鮮さを感じられます。訪れた方々に満足していただけるガイドを目指していきたいです。



大石小学校の児童を案内する道先案内人会(日枝神社跡)

集落

高谷(こうや)

【世帯数】13世帯

【字名】高谷、市野萱、菅野沢、立目沢

【地理・歴史】

北方部の最奥に位置し、丸森霊山線の県道筋に集落が点在する。筆甫や副霊山に通じる道があり、かつては交流があった。

【建造物、史跡】

金華山神社(大正11年建立。宮城県の金華山の方を向いて碑が立っている)、馬頭観音。

【行事】

金華山神社祭礼(11月3日)



秋に開催される金華山神社の祭礼。北又の獅子舞も奉納される

月と農村文化

月に関係した風習として、9月の「十五夜」は有名ですが、10月にも「十三夜」があり、少し欠けた小望月を見ながら、栗や豆をお供えします。「中秋の名月」を観た方は、「十三夜」もご覧になってみてはいかがでしょうか。今年は10月17日です。

最近、「月の満ち欠け」を野菜作りに取り入れている人が増えていくそうです。

【新月●↓満月○】

栄養成長(葉や茎など植物の体を作る働き)が活発になる。

種まきは新月(朔)の2日前。

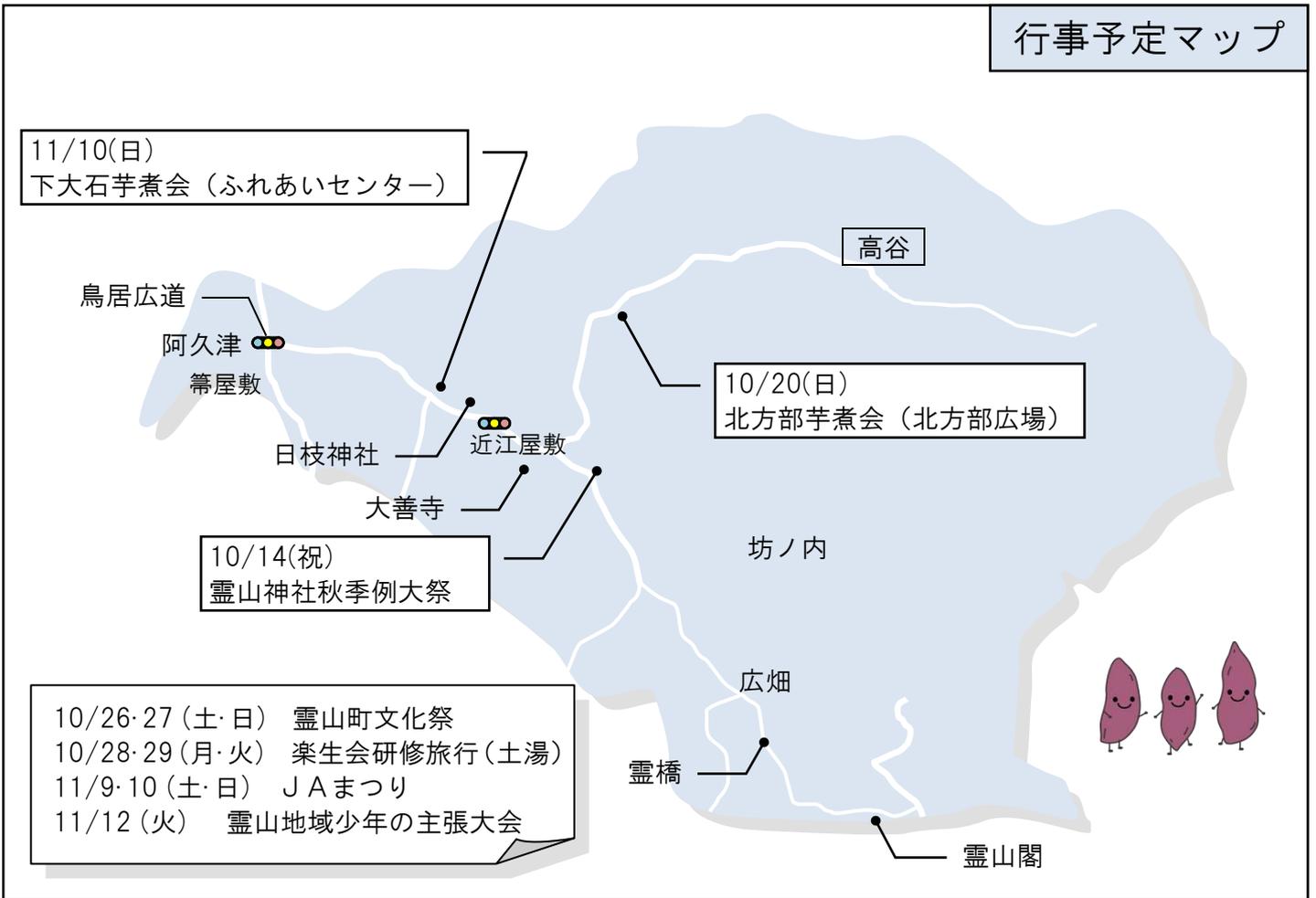
【満月○↓新月●】

生殖成長(花を咲かせ、実をつけ、種を結ぶ働き)が活発になる。定植は満月(望)。

※害虫は満月に産卵孵化するので、4〜5日後に防除すると効果的である。

出典：『暦に学ぶ野菜づくりの知恵』

すべてに当てはまるかはわかりませんが、月のリズムに合わせるのも一つの栽培方法のようです。



お知らせ

◎霊山町文連協より

今年で41回目を迎える霊山町の文化祭。文化活動をする方々が、一年間の成果を発表します。大石地区からも多数の方が参加しますので、是非お越しください。

【日時】 10月26・27日(土・日)

【場所】 霊山中央公民館、体育館

【開催内容】

○芸能発表会 (26日)

○展示発表会 (26日・27日)

※シルバー作品展も同時開催

○囲碁大会 (27日)、他

【問合せ先】

霊山中央公民館

024(586)1314



編集後記

NHKの朝ドラ『あまちゃん』はご覧になっていたでしょうか。岩手三陸の「北限の海女(あま)」をテーマにした、人情味溢れるコメディドラマでした。「じぇいじぇい」が口癖になっていませんか。

ドラマの中では、過疎化や震災に悩む地方の町が、紆余曲折しながらも、地元の良さに気づき、みんなで力を合わせ、地域を盛り上げていく場面が描かれています。ドラマは俳優が役を演じていますが、住民一人一人が「一役者」となって演じることも地域の活性化には必要なのではないか、と思うところがありました。(支)

次号(11月号)は、

11/14(木)発行予定

記事・情報はお近くの特派員まで

大橋庄信、大橋博之、村松初、小林節子、大石精、高橋トモ子

【今月の記事投稿・写真提供】

橋内みき子さん、大橋克之さん(掲載順)

大石便り

11月号
毎月1回発行
(第17号)

「文化祭がにぎやかに開催」

10月26・27日、「第41回霊山町文化祭」が開催されました。

オープニングセレモニーでは、園児たちによる太鼓や鼓笛の演奏、ダンスなどの素晴らしい演目に元気づけられました。続いて、スポーツ民謡や日本舞踊、民謡、手話などの団体が日頃の成果を披露しました。最後は、民謡クラブの唄と藤由貴会の踊りに合わせて、会場の皆さんと一緒にフィナーレを飾りました。

展示では、大石楽生会のシルバニア作品展による数々の展示品のほか、大石手編教室やパソコンクラブの作品、大石小児童たちの習字や絵などが展示され、多くの来場者の目を楽しませました。(ト)



大橋福子さんの「南部蝉しぐれ」



生き生きクラブの作品



楽生会の皆さんも元気に



民謡「秋田おばこ」に合わせて、会場全体が一体となりました

「秋の例大祭」㊦

10月14日、「霊山神社秋季例大祭」が行われました。

社殿では、神事が執り行われた後、千葉松治さん(院主)に感謝状の贈呈がありました。境内では北又の獅子舞や霊山太鼓、神楽殿では巫女の舞や舞踊、棒術、剣舞などが奉納されました。

秋晴れに恵まれた霊山神社には、氏子崇敬者や観光客が多数訪れ、境内も賑わいました。(初)



北又の獅子舞奉納



巫女姿の中学生たち



「北方部芋煮会」㊦

10月20日、「第29回北方部芋煮会」が行なわれました。あいにくの雨で北方部会館での開催となりましたが、会館に入りきれないほどの参加者で賑わいました。じゃんけん大会、ビンゴゲーム、輪投げ大会などを楽しみながら、美味しい芋煮に舌鼓を打ちました。

また、筆南地区から「ひっぽまつり」実行委員会の方々が駆けつけてくださり、大石北方部の住民と親睦を深めました。(支)



屋外でのレクリエーションに負けないくらいに盛り上がりました

「プチニュース」

▽10月28・29日、大石楽生会が土湯温泉「ホテル扇屋」で泊研修旅行を行いました。

「ほれ話」：赤い羽根共同募金の「住民助け合い活動助成事業」(12月27日締切り)も続々と助成されているようですが、皆さんの口からはよく「赤十字」と聞くので、間違わないようにしてくださいネ。(支)

「公演に向けて通し稽古」

10月20日(里山がっこう)
天蚕踊りの会



荒馬座の宮河さん演技指導を受けながら、踊りや太鼓の細かい動きを入念に打ち合えました(す)

「いんぽんごまお食事会」④

10月24日(ふれあいセンター)
下大石ふれあいサロン



実りの秋を迎え、日頃のご苦勞に感謝して、「ごくろうさまお食事会」を行いました(ケ)

「靈山公民館文化祭」

10月26日(ふれあいセンター)
大石生き生きクラブほか



シルバー展に出展された靈山地区の作品がギャラリーに展示され、多数の方々が鑑賞しました(精)

「靈山紅葉まつり」

10月27日(靈山登山口駐車場)
靈山道先案内人会ほか



靈山の紅葉が色づき始め、多くの登山客が訪れています。担当の大石地区の道先案内人も大忙しでした(支)

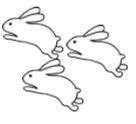
「お便り」

「南方部会研修旅行」④

小林 節子(右代)

10月6日、南方部会員47名が参加して、山形県の熊野大社参拝と天童温泉へ行ってきました。熊野大社では、3羽のうさぎの彫刻を見つけると縁が結ばれるとのこと。天童温泉では、美人の湯に浸かり、米沢牛をいただきました。旅は良いものですね。来年も行けますように！

3羽のうさぎは見つかったでしょうか



女性陣にお酌をする
宴会部長



京 曆 (霜月)

ごまみ

【京都の紅葉】

紅葉の名所である京都では、市街地にある名刹のほか、東山、鷹ヶ峯、嵐山、嵯峨野、高雄などの山懐にも名所が多く、訪れる者を飽きさせない。



「そうだ京都へ行こう」のCMでお馴染みの圓光寺

く 京・放浪記 く

圓光寺の紅葉は、自然と人工が調和した美が印象的で、東北の大自然の紅葉とはまた一味違った、京都らしい紅葉の美しさを感じることができます。

あにまる

ヤギ4頭

飼い主：齋藤 喜芳さん（広畑）
きよし



震災前は搾った乳を飲んでいました

8年前に友人から2頭のヤギを譲り受け、現在は4頭に増えました。親ヤギは自宅の小屋で飼い、子ヤギ3頭は畑にたないで育てています。



自然の中ですくすくと育てています

活動団体

大石手編教室

【会長】齋藤 霊子（小坂）

【会員数】11名

【設立年】平成2年

【おもな活動】例会（月2回）、町文化祭シルバー展出展など

【活動日】

第1・第3月曜、午後1時～

3時半（ふれあいセンター）

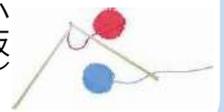
※会員の都合により変更あり

【一言】

カギ針編みを中心に、セーター、カーデガン、小物など、好きなものを自由に編んでます。毛糸のように細く長く続けていきたいと思っています。



先生はいないので、皆で教え合いながら、楽しく続けています



集落

杉菜畑（すぎなはた）

【世帯数】18世帯

【字名】日影、水上、杉菜畑、山上、小入

【地理・歴史】

北畠頭家卿の家臣（掃部・かもん）が、頭家卿の遺髪を持ち帰って田に納め、貴船神社を建立し、帰農したと云われている。桜並木や日影の枝垂れ桜は春の風物詩になっている。

【建造物、史跡】

貴船神社、三嶋神社、三嶋神社奥の院、山神様

【行事】貴船神社・三嶋神社祭礼、山神様祭礼（11月）



県道沿いに連なる約80本の桜並木は、集落住民で植樹・管理している

旬のレシピ

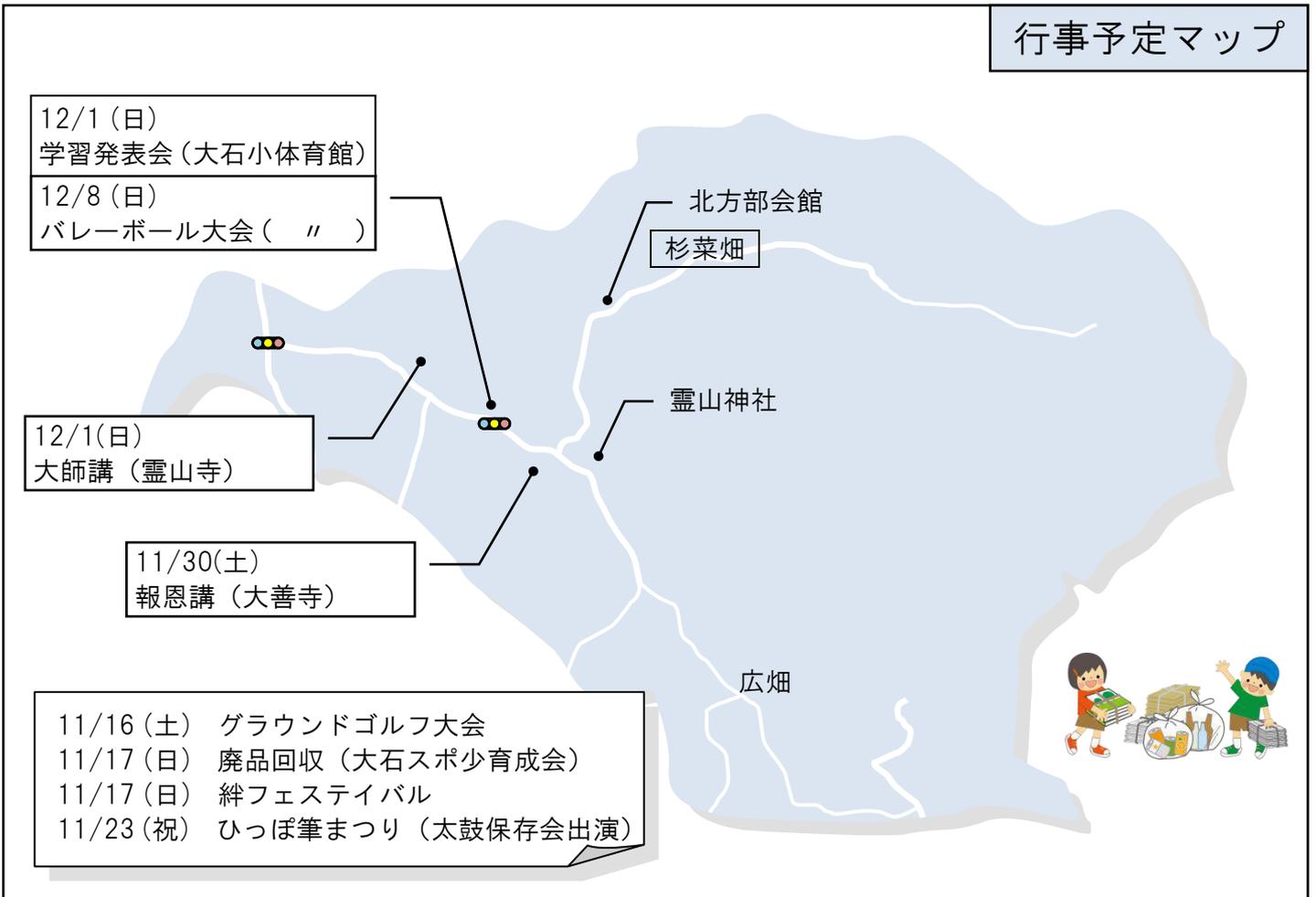
里芋のおやき（フーフ入り）

【材料】（5人分）

里芋 200g、ご飯 2杯、味噌適量、醤油適量、生姜少々、砂糖少々、すりゴマ（白）適量

【作り方】

- ① 里芋は半分に切り、皮のまま蒸す。（レンジでも可）
 - ② ご飯をすり鉢で、粒が残るくらいにつぶす。
 - ③ 味噌、醤油、すりおろした生姜を合わせ、タレを作る。（砂糖はお好みで）
 - ④ すりつぶした里芋とご飯を混ぜて、拳くらいの大きさの平たい俵型にし、すりゴマをまぶして、油をひいたフライパンで焼く。
 - ⑤ ③で作ったタレを塗り、さらに焼いて出来上がり。
- ※油を使わず、網で焼いてもよい



お知らせ

◎絆フェスティバル
実行委員会より

東京の民族歌舞団「荒馬座」と地域住民による『ふるさと霊山ここに生きる』を公演します。

○11月17日(日) 午後2時～

○霊山地域交流センター

(霊山中学校体育館)

○入場料 1,000円

(大学生以下、無料)

○問合せ先 実行委員会事務局

024(587)1032

◎大石小学校より

今年度も東京のアーティストの皆さんの支援をいただきながら、再編成された創作劇『桑の実が見る夢』を発表します。

○12月1日(日)

・第1部：午前9時～

大石ふれあい会「芸能発表」

・第2部：午前10時45分～

学習発表会『桑の実が見る夢』

○大石小学校 体育館

○問合せ先

024(587)1315

編集後記

絆フェスティバル『ふるさと霊山ここに生きる』と大石小の学習発表会『桑の実が見る夢』は、どちらも東京で活躍するアーティストが、「ふるさとで生きること」をテーマとして製作されています。

伝統芸能の荒馬座と現代演劇の木村準さんでは、表現方法こそ違いかもかもしれませんが、地元の住民や子どもたちと一緒に練習を重ねて作り上げられた作品は、きつと見ている者に感動を与えてくれるものと思います。

町内でこのような公演を鑑賞できるのは、福島を気にかけていただいている証でもあり、幸せなことなのかもしれません。(支)

記事・情報はお近くの特派員まで

大橋庄信、大橋博之、村松初、小林節子、大石精、高橋トモ子

次号(12月号)は、

12/12(木)発行予定

【今月の記事投稿・写真提供】

高野すみ子さん、菅野ケイ子さん、斎藤 霊子さん(掲載順)

大石便り

12月号
毎月1回発行
(第18号)

「百歳賀寿」㊦



11月17日、大橋チヨノさん(杉菜畑)が百歳を迎えました。

大正・昭和・平成に渡って農業に従事され、特に養蚕の技術に関しては、収繭量が多く、優れておられました。昭和三十年代はすべての作物の増産を奨励され、山を開墾し、往復を荷物を背に負うた時代を過ごされました。このたび、百歳を記念し、貴船神社の鳥居を朱塗り奉納されました。(庄)



19日に行なわれた『知事賀寿贈呈式』では、家族・親族らが長寿をお祝いしました

「大石地区の活性化へ」

11月1日、『大石地域活性化協議会』結成式が霊山ふれあいセンターで行われ、事業計画の説明や役員選出などが行なわれました。



結成式には、推薦を受けた22名(当日は20名)の協議会委員が参加しました

11月20日には、第1回の協議会会議が行なわれ、今年度の具体的な取組についての協議がなされました。年内は、協議会委員による「先進地視察研修」と大石地域活性化講座の「正月料理講座」を行なうことが決まりました。今後、協議会会議と役員会議はそれぞれ月一回程度行なわれ、大

石地区の活性化に向けて協議していきます。(支)

「北又の秋祭り」㊦

11月3日、熊野神社、地藏尊、文殊様、貴船神社、金華山神社の祭礼が行われました。今年も無事に過ごすことができましたことと五穀豊穣に感謝し、各神社・寺に北又の獅子舞が奉納されました。その後、各氏子宅を訪問し、獅子舞を披露しました。(庄)



山中の厳かな場所にある文殊様(長畑)の祭礼での獅子舞奉納

「下大石で芋煮会」㊦

11月10日、霊山ふれあいセンターで、下大石振興会主催の健康ウォーキングと芋煮会が行なわれ、55名が参加しました。尾形祐子先生から準備体操と

正しいウォーキングの指導を受けた後、代皇山を一周する4キロコースを歩き、その後、ストレッチ運動で筋肉の疲れをほぐしました。メインの芋煮会では、下大石ふれあいサロンの方々が作った芋煮をいただきながら、楽しく親睦を深めました。(精)

代皇山を一周する参加者たち



汗を流した後の芋煮の味は格別



「ミニニュース」

▽11月12日に開催された「第31回霊山地域少年の主張大会」で、大石小6年の日下真帆さん(稲荷内)が、『大切な命』について発表しました。

「グラウンドゴルフ」

11月9日(中川集落センター)

霊山公民館長杯



秋晴れの空の下、好プレー・珍プレーが繰り広げられ、和気あいあいの中、親交を深めました(ト)

「廃品回収」

11月17日(大石地区内)

大石スポーツ少年団育成会



霜が下りる寒さの中、各家庭から集めた新聞やアルミ缶などを、子どもと父兄が協力して仕分を行いました(精)

「絆フェスティバル大盛況」

11月17日(地域交流センター)

りょうぜん里山がっこう



荒馬座と霊山町民が一体となった新しい芸能が披露され、500人の聴衆が集まった会場は熱気に包まれました(支)

「ひっぽ筆まつりに参加」

11月23日(丸森町筆甫地区)

大石北組太鼓保存会



今年で2回目となる「筆まつり」での霊山太鼓披露。万五郎さんの唄声が筆神社に響き渡りました(支)

「お便り」

「阿久津で花壇づくり」

阿久津行政区民一同

11月17日の日曜日、秋空の暖かな日差しの中、阿久津交差点角で花壇づくりを行いました。作業後は集会所で芋煮会を催し、区民の親交を深めました。

この阿久津道路愛護にご尽力いただいた佐久間勇一様が、11月22日にご逝去されました。残った区民一同で、道路愛護花壇づくりの遺志を受け継いでまいりたいと思います。(大友孝子)



少しずつ花木を増やしていきますので、大石地区の皆様も楽しみにしてください

京 曆 (師走)

ごまみ

【にしんそば】

大切なタンパク源であり保存食であったにしんをかけたそばの上に載せたもので、北海道や京都の名物料理となっている。大晦日の夜は、にしんそばを食べて年越しする人も多い。



松葉のにしんそば

く 京・放浪記 く

大晦日の晩、祇園界隈から清水寺周辺にかけて、京都の神社仏閣で年を越そうと、大勢の観光客が訪れます。浴道では甘酒やおしるこが振舞われ、心身ともに温まります。

大石の人

岡崎 三喜夫さん（倉波）



83 歳になっても元気に過ごしています

高齢にはなりましたが、器用にPPバンドを扱って、たくさんのカゴを編んでおられます。近所の方々にもプレゼントをして、とても喜ばれています。（精）



犬の世話とカゴ作りが生きがいになっています

活動団体

下大石振興会

【会長】菅野 房男（倉波）

【会員数】約165戸

【設立年】平成19年

【おもな事業】

下大石振興会館の建設と維持、太鼓保存、獅子舞保存、その他目的達成に必要な事業

【おもな活動】

芋煮会、登山、ウォーキング、スポーツ吹矢の共催など

【一言】

下大石地域の文化の継承や振興に向けた事業を、今後も取り組んでまいりますので、よろしくお願い致します。



靈山寺グラウンド横にある下大石振興会館

集落

台馬越（だいまこ）

【世帯数】15世帯

【字名】台、馬越、暮山上、才戸、漆方

【地理・歴史】

代皇山の東麓に位置し、登山口がある。北畠顕家卿が靈山城に在城した頃、代皇山は出城（館）の一つであったと云われている。

【建造物、史跡】

台馬越集会所、代皇山（千手観世音菩薩、大日如来、古峰明神）、稻荷神社、観音堂

【行事】初午、花見、芋煮会、

千手観世音菩薩祭礼（4月）、

観音様祭礼（10月）



山頂にあるお堂。境内には西国三十三観音の石像が安置されている

農事暦（冬）

【12月】

○水田：田起こし

○畑：白菜・大根等の収穫、春菊の収穫（春）

○果樹：りんごの収穫、あんぽ柿の皮むき

【1月】

○田畑：ののそめ（農初）。新年最初に農業を始める

日、松をさし、餅などを供え、土を少し起こして、豊作を祈願する。

○果樹：あんぽ柿の出荷

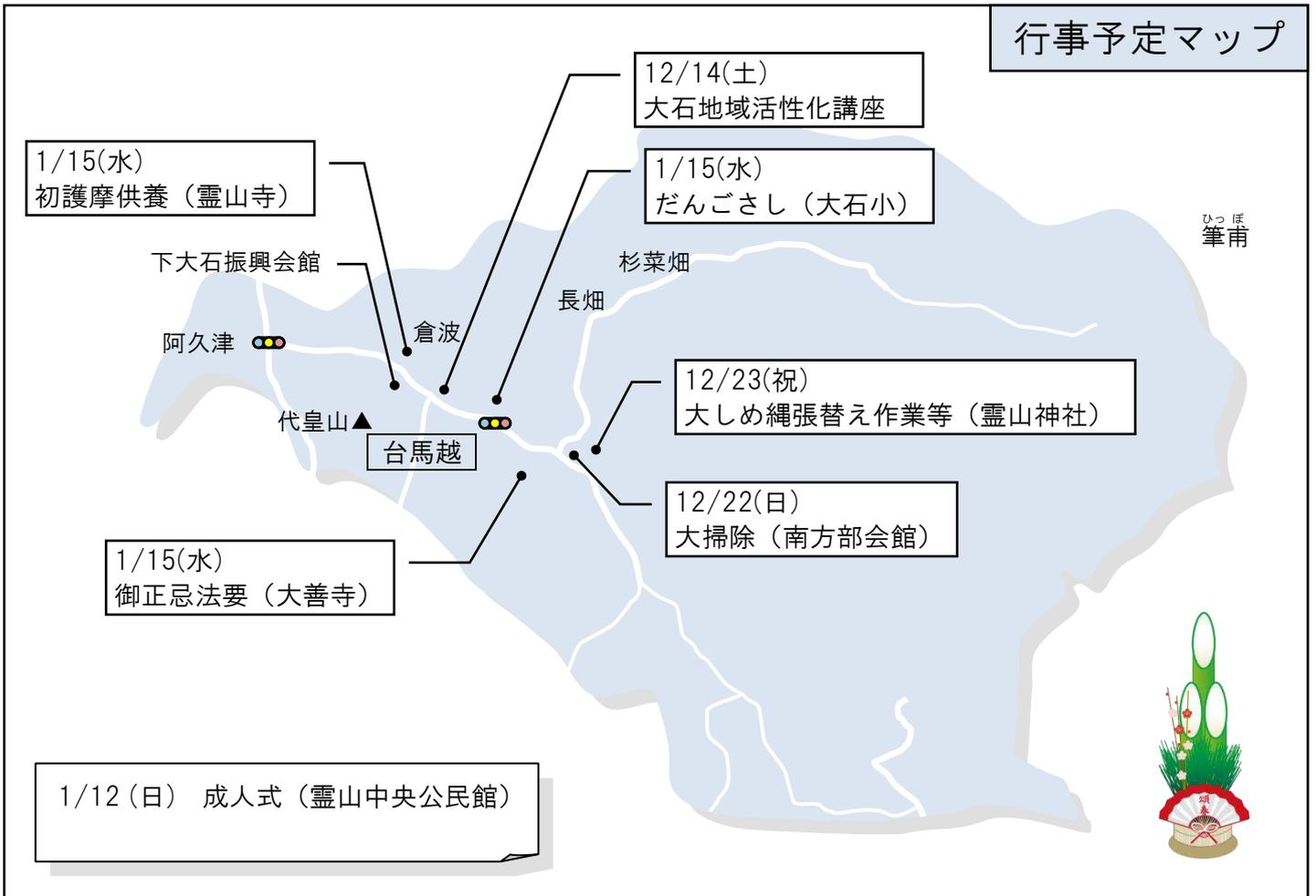
○2月

○果樹：梅・桃・柿等の選定



軒先に吊るしたあんぽ柿

行事予定マップ



お知らせ

◎大石地域活性化協議会より

大石地域活性化講座として、「正月料理講座」を開催します。ふるってご参加ください。

【日時】 12月14日(土)

午前10時～午後2時

【場所】 霊山ふれあいセンター

【開催内容】 正月料理講座

(講師：本田洋子先生)

【問合せ先】 事務局 村松初

090(1935)7598

◎霊山神社氏子総代より

氏子総代では12月23日に、すす払い、鏡餅、門松作り、大しめ縄の張替えの行事を行います。

新年も良き年でありますよう、多数の皆様のお越しをお待ちしております。

◎年末年始の閉庁・休館

○伊達市役所、霊山総合支所など
○12月28日～1月5日

編集後記

「大石地域活性化協議会」が発足し、大石地区活性化の第一歩が踏み出されました。町内で大字単位の自治組織がないのは、掛田地区と大石地区だけなので、今後、協議を重ねて事業を行ないながら、将来の自治組織作りの基盤になることを願っています。

「大石便り」に関しては、住民主導で新聞作りを行なっていくことが急務となっています。そのため、新年からは紙面をスリム化し、リニューアルしてお届けしますので、宜しくお願い致します。(支)

次号(月号)は、

1/23(木)発行予定

記事・情報はお近くの特派員まで

大橋庄信、大橋博之、村松初、
小林節子、大石精、高橋トモ子

【今月の記事・取材協力、写真提供】
大橋喜博さん、大友孝子さん、(掲載順)